

# オックスフォード大学出版局&数研出版 中学高等学校教員向けセミナー開催のご案内

## ～ Cultivating Active Communication through 5 Essential Skills ～

学 校 長 殿  
英語科主任 先生  
英語科ご担当先生

2018年9月

常日頃にご愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。

今年もオックスフォード大学出版局（Oxford University Press）ならびに数研出版は、中学校、高等学校の英語教員の方々を対象としたセミナーを開催いたします。指導法の多様化や次期学習指導要領をふまえ、ご指導の具体例につながるようにワークショップを含む、広い視野からの多様なプログラムをご用意いたしました。

（コースブック『Q: Skills for Success』を用いた指導法、reading 指導、アクティブ・ラーニング、次期指導要領の「話すこと（やり取り）」などを含む講演を予定）。

本年も、何卒、多数のご参加を賜りたく、ご高配の程よろしくお願ひ申し上げます。

（なお、本年は『教科書発行者行動規範』により一部のテーマが有料となります）…注

オックスフォード大学出版局・数研出版

### 【10/14(日) 京都会場】数研出版 関西本社ビル 地下1階ホール

| タイムテーブル         | 講演タイトル  | 参加費  |
|-----------------|---|------|
| 10:15～ 受付       | 当日は、別途送付させていただく「参加証（ハガキ）」をご持参ください。  |      |
| 10:30～12:00 第1部 | 次期学習指導要領にどう立ち向かっていけばよいのでしょうか？<br>—「3つの資質能力の育成」「外国語教育の抜本的強化」と実際の授業作り—（増見敦） | 200円 |
| 13:00～14:30 第2部 | 自律型学習者を育てる「教えない」授業デザイン<br>～SDGsで教室の学びをリアルな社会につなげる～（山本崇雄）                  | 無料   |
| 14:45～16:15 第3部 | 「Reading 再考」—side reader を有効に活用するには—（石井正仁）                                | 無料   |

※ 定員：100名 申込締切 10/8（月・祝） 申込先着順

### 【11/18(日) 大阪会場】TKP 大阪梅田駅前ビジネスセンター ホール 3A

| タイムテーブル         | 講演タイトル                             | 参加費  |
|-----------------|------------------------------------|------|
| 10:15～ 受付       | 当日は、別途送付させていただく「参加証（ハガキ）」をご持参ください。 |      |
| 10:30～12:00 第1部 | 即興的やりとり型アクティビティ：理論と実践（三野宮春子）       | 200円 |
| 13:00～14:30 第2部 | Q: Skills for Success を用いた授業（江口智紀） | 無料   |
| 14:45～16:15 第3部 | 気軽に多読、はじめませんか？（佐野愛子）               | 無料   |

※ 定員：90名 申込締切 11/12（月） 申込先着順

■ 申し込み：別紙参加申込書に必要事項をご記入のうえ、各締切日までに FAX にてお申し込みください。

お申し込み確認後、ハガキで「参加証」を送付させていただきます。

■ 対 象：英語教育に携わる中学校・高等学校の先生

■ 主 催：オックスフォード大学出版局（Oxford University Press）、数研出版

■ 参加費：第1部 200円（税込）。当日会場でのお支払い。領収書が必要な場合、参加申し込み時にその旨ご記入ください。

…注：一般社団法人教科書協会作成の「教科書発行者行動規範」に基づき、教科書発行者の数研出版者による講演は有料開催となります。

なお、「参加費」につきましては、セミナー運営の一部に充てさせていただきます。ご理解のほど、よろしくお願ひいたします。

【問い合わせ先】 オックスフォード大学出版局 TEL:03-5444-5454 e-mail:elt.japan@oup.com  
数研出版コールセンター TEL:075-231-0162（コールセンター） e-mail:seminar@suken.co.jp

\*個人情報の取扱いについて

オックスフォード大学出版局のプライバシーポリシーでは、お客様からお預かりした個人情報の取り扱い方法について規定しています。また、同ポリシーには、弊社のマーケティング活動やその他の事業活動におけるお客様の個人情報の活用に関して、お客様が異議の申し立てをすることができる権利について明示しています。[www.oup.com/privacy](http://www.oup.com/privacy)

数研出版株式会社では、ご提供いただいた個人情報をプライバシーポリシーに従い、個人情報保護法等の関連法令を遵守し、管理・利用等をさせていただきます。<http://www.chart.co.jp/top/engagement/privacy.html>

## ■プログラムの詳細

| 開催地・講演タイトル・講師   | 講演内容の詳細  |
|---|--|
| <p style="text-align: center;"><b>京都 10/14</b></p> <p>&lt;講演タイトル&gt;<br/>次期学習指導要領にどう立ち向かっていけばよいのでしょうか？<br/>—「3つの資質能力の育成」「外国語教育の抜本的強化」と実際の授業作り—</p> <p>&lt;講師&gt;増見敦<br/>神戸大学附属中等教育学校<br/>教諭</p> | <p>次期学習指導要領では、3つの資質能力（「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」）の育成、そして外国語教育の「抜本的強化」(!!) が示されています。これらの大きな課題に向かって、我々現場の教員は、実際の授業をどのように創り上げていけばよいのでしょうか。ここでは、「題材の扱い」「生徒が英語を使う場面の設定」「教室という環境を活かした活動」「ゴールを明確にした単元の組み立て」をキーワードに、実際の実践例の紹介も取り入れながら、これからの授業で求められることについて先生方と一緒に議論・共有をできればと思っております。</p>  |
| <p style="text-align: center;"><b>京都 10/14</b></p> <p>&lt;講演タイトル&gt;<br/>自律型学習者を育てる「教えない」授業デザイン～SDGsで教室の学びをリアルな社会につなげる～</p> <p>&lt;講師&gt;山本崇雄<br/>東京都立武蔵高等学校・附属中学校<br/>指導教諭</p>                 | <p>教室の学びをSDGsを通してリアルな社会課題につなげるプロジェクト型の授業を提案します。手法としてアクティブ・ラーニングの活動を通して自律型学習者を育てていきます。さらに、生徒に学び方を手に入れることで教師が「教えない」授業デザインが可能になります。</p>   |
| <p style="text-align: center;"><b>京都 10/14</b></p> <p>&lt;講演タイトル&gt;<br/>「Reading 再考」— side reader を有効に活用するには —</p> <p>&lt;講師&gt;石井正仁<br/>東洋大学京北高等学校<br/>主任教諭</p>                               | <p>本プレゼンテーションでは、CEFERやLEXILE、日本における国語教育と読解教育のアプローチ、リーディングとリスニングの不可分の重要性などにポイントを置きながら、リーディング、特に新しいセンター試験で求められるリーディングの力とは何かについて考察します。また、グレイディッド・リーダーやノンフィクションリーダーを副教材として活用するためのコツと具体的な方法をご紹介します。</p>   |
| <p style="text-align: center;"><b>大阪 11/18</b></p> <p>&lt;講演タイトル&gt;<br/>即興的やりとり型アクティビティ：理論と実践</p> <p>&lt;講師&gt;三野宮春子<br/>大東文化大学 文学部<br/>英米文学科 特任准教授</p>  | <p>「即興」とは何でしょう？単に準備時間を短くするだけでは、即興ならではの面白さが引き出せるとは限りません。「やりとり」は、どんな点で発表と区別されるのでしょうか？単に話者交替を頻繁にするだけでは、結局のところ交替で発表し合う活動になってしまいます。</p> <p>このワークショップ型講演では、まず参加者の先生方にアクティビティを体験していただき、それをもとに考察を深めます。即興的やりとり型活動を計画したり、活動中に生徒の学びを見取って効果的なフィードバックを行うためには、旧来の言語観や指導観を更新することが要求されます。正確さ (accuracy)・流暢さ (fluency)・適切さ (appropriateness) の軸に何を加え、その先にどんな英語教育を描いてゆけるのでしょうか。体験的・対話的に探究する講演を目指します。</p> |
| <p style="text-align: center;"><b>大阪 11/18</b></p> <p>&lt;講演タイトル&gt;<br/>Q: Skills for Success を用いた授業</p> <p>&lt;講師&gt;江口智紀<br/>佐賀県立佐賀西高等学校<br/>教諭</p>  | <p>4年前に Q: skills for success を授業で導入して以来、本校では4技能育成を目指した授業実践を行ってきました。このプレゼンテーションでは、Q: skills for Success を用いた授業を通じて得たもの、そしてそこから見えてきた課題なども含めてお話しします。</p>   |
| <p style="text-align: center;"><b>大阪 11/18</b></p> <p>&lt;講演タイトル&gt;<br/>気軽に多読、はじめませんか？</p> <p>&lt;講師&gt;佐野愛子<br/>北海道文教大学 外国語学部<br/>国際言語学科 准教授</p>  | <p>多読の意義についてはわかっている、普段の授業の中では取り入れる隙間がない、多忙な毎日の中で新しいことを始める余裕がない、受験勉強との兼ね合いをどうすればよいかわからない、などの理由で躊躇されている先生方にも、もっと気軽に多読を取り入れられる実践例を報告します。多読指導を始めたい先生方、一緒に考えてみませんか？</p>   |

## 🎉会場のご案内🎉

**京都会場** 定員:100名

10月14日(日)10:30~16:15  
(受付開始 10:15~)

数研出版関西本社ビル

地下1階 ホール

(京都府京都市中京区烏丸通竹屋町上る大倉町  
205番地)

\*JR「京都駅」、阪急「烏丸駅」より、  
市営地下鉄烏丸線「丸太町駅」下車 ④番出口  
南側すぐ。

申込締切:10月8日(月・祝)



**大阪会場** 定員:90名

11月18日(日)10:30~16:15  
(受付開始 10:15~)

TKP 大阪梅田駅前ビジネスセンター

3階 ホール3A

(大阪府大阪市北区堂山町17-13 梅田東宝ビル)

\*阪急・阪神「梅田駅」 地下道 M2 番出口  
徒歩3分

\*JR「大阪駅」 御堂筋南口 徒歩5分

申込締切:11月12日(月)



FAX 075-256-2936

# オックスフォード大学出版局 & 数研出版セミナー 参加申込書

数研出版 広報課 行

※京都会場は10/8(月・祝)、大阪会場は11/12(月)までにお申し込みください

|         |            |                                 |
|---------|------------|---------------------------------|
| 貴校名     | 都・道・府<br>立 | <input type="checkbox"/> 中学校    |
|         | 県・市・私      | <input type="checkbox"/> 高等学校   |
|         |            | <input type="checkbox"/> 中等教育学校 |
| 学校電話番号: | 学校FAX番号:   |                                 |

※お名前は 漢字・ふりがなとも フルネームでお願いします。

| ご出席先生名/メールアドレス  | 参加希望プログラム 領収書 <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください  |
|---|---|
| (ふりがな)<br>お名前   | <input type="checkbox"/> 京都会場: <input type="checkbox"/> 第1部 (有料 200 円) <input type="checkbox"/> 第2部 <input type="checkbox"/> 第3部<br><input type="checkbox"/> 大阪会場: <input type="checkbox"/> 第1部 (有料 200 円) <input type="checkbox"/> 第2部 <input type="checkbox"/> 第3部<br><input type="checkbox"/> 「第1部」の領収書が必要<br>宛名 (校名・個人名): |
| 【男・女】   |   |
| E-mail _____ @ _____  |   |
| 今後、オックスフォード大学出版局のイベントや新商品・サービスなどの情報を、Eメールやお電話でご案内する場合がございます。受け取りを希望される方はチェックをしてください。 <input type="checkbox"/> |   |
| 今後、数研出版からの情報を希望 <input type="checkbox"/> する / <input type="checkbox"/> しない                                    |   |
| (ふりがな)<br>お名前   | <input type="checkbox"/> 京都会場: <input type="checkbox"/> 第1部 (有料 200 円) <input type="checkbox"/> 第2部 <input type="checkbox"/> 第3部<br><input type="checkbox"/> 大阪会場: <input type="checkbox"/> 第1部 (有料 200 円) <input type="checkbox"/> 第2部 <input type="checkbox"/> 第3部<br><input type="checkbox"/> 「第1部」の領収書が必要<br>宛名 (校名・個人名): |
| 【男・女】   |   |
| E-mail _____ @ _____  |   |
| 今後、オックスフォード大学出版局のイベントや新商品・サービスなどの情報を、Eメールやお電話でご案内する場合がございます。受け取りを希望される方はチェックをしてください。 <input type="checkbox"/> |   |
| 今後、数研出版からの情報を希望 <input type="checkbox"/> する / <input type="checkbox"/> しない                                    |   |
| (ふりがな)<br>お名前   | <input type="checkbox"/> 京都会場: <input type="checkbox"/> 第1部 (有料 200 円) <input type="checkbox"/> 第2部 <input type="checkbox"/> 第3部<br><input type="checkbox"/> 大阪会場: <input type="checkbox"/> 第1部 (有料 200 円) <input type="checkbox"/> 第2部 <input type="checkbox"/> 第3部<br><input type="checkbox"/> 「第1部」の領収書が必要<br>宛名 (校名・個人名): |
| 【男・女】   |   |
| E-mail _____ @ _____  |   |
| 今後、オックスフォード大学出版局のイベントや新商品・サービスなどの情報を、Eメールやお電話でご案内する場合がございます。受け取りを希望される方はチェックをしてください。 <input type="checkbox"/> |   |
| 今後、数研出版からの情報を希望 <input type="checkbox"/> する / <input type="checkbox"/> しない                                    |   |
| (ふりがな)<br>お名前   | <input type="checkbox"/> 京都会場: <input type="checkbox"/> 第1部 (有料 200 円) <input type="checkbox"/> 第2部 <input type="checkbox"/> 第3部<br><input type="checkbox"/> 大阪会場: <input type="checkbox"/> 第1部 (有料 200 円) <input type="checkbox"/> 第2部 <input type="checkbox"/> 第3部<br><input type="checkbox"/> 「第1部」の領収書が必要<br>宛名 (校名・個人名): |
| 【男・女】   |   |
| E-mail _____ @ _____  |   |
| 今後、オックスフォード大学出版局のイベントや新商品・サービスなどの情報を、Eメールやお電話でご案内する場合がございます。受け取りを希望される方はチェックをしてください。 <input type="checkbox"/> |   |
| 今後、数研出版からの情報を希望 <input type="checkbox"/> する / <input type="checkbox"/> しない                                    |   |